

石狩川滝川地区水害タイムライン シンポジウム

滝川地区水害タイムラインを どのように活かすか!!

～市民の命を水害から守る（昭和56年水害から35年）～



日 時：8月3日（水）14：50～17：00

場 所：たきかわ文化センター小ホール

**事務局：北海道開発局 札幌開発建設部
札幌管区气象台
滝川市**

講演

昭和56年8月水害の 気象・降雨を振り返る

志田 昌之 (Masayuki Shida)
元旭川地方気象台長



● 主な経歴

1973年4月	旭川地方気象台	防災業務課	(採用)
2003年4月	札幌管区気象台	技術部予報課	予報官
2004年4月	札幌管区気象台	技術部予報課	防災気象官
2005年4月	札幌管区気象台	総務部業務課	防災調整官
2007年4月	旭川地方気象台	防災業務課長	
2008年4月	旭川地方気象台	技術課長	
2010年4月	札幌管区気象台	技術部 気候・調査課長	
2012年4月	札幌管区気象台	技術部 気象防災情報調整官	
2013年4月	網走地方気象台長		
2015年1月	旭川地方気象台長		
2015年3月	退職		

● 主な活動

「防災気象情報は役に立って・なんぼ!」が口癖。
現役中は、「気象台は適時・適切にユーザーの気持ちを汲み取る努力が必要」と、現場で予報官の指導にあたる。
現在は、日本気象予報士会北海道支部に所属し、気象情報利活用について気象予報士による普及啓発活動に携わっている。

昭和56年水害の被害と対策

黒木 幹男 (Mikio Kuroki)

NPO法人環境防災研究機構北海道 専務理事



- 主な経歴

1971年4月	北海道大学工学部	助手
1988年4月	北海道大学工学部	助教授
1997年4月	北海道大学大学院	工学研究科 助教授(組織換)
1998年4月	北海道大学農学部	講師(併任)
2005年4月	北海道大学公共政策大学院	講師(併任)
2009年3月	北海道大学大学院工学研究科	准教授 退職
2009年4月	(財)河川環境管理財団北海道事務所	北海道研究所長
2011年4月	(財)河川環境管理財団北海道事務所	顧問

- 主な活動

流域の水と土砂の動きを土砂水理学の立場から研究。大雨によって引き起こされる洪水災害・土砂災害の発生メカニズムの解明、災害を減らすための方法、豊かで潤いのある川づくり、活力ある流域づくりの方法について研究している。

また、北海道開発局や北海道の各種委員会委員を務める。

パネルディスカッション

アドバイザー：松尾 一郎 (Ichiro Matsuo)

CeMI 環境・防災研究所副所長・地域防災研究センター長
東京大学生産技術研究所研究員、日本災害情報学会理事
三重県紀宝町防災行政総合アドバイザー



● 主な災害調査研究

1995年 阪神淡路大震災にかかる被害調査
(中略)

2011年 東日本大震災津波避難行動調査・消防団・民生委員児童委員行動調査

2012年 タイ水害に係る企業防災の意識および体制の調査研究

2013年～米国タイムライン型行動計画の国内自治体への適用検証

2013年～大規模災害リスク地域における消防団・民生委員・自主防災リーダー等も守る『コミュニティ防災』の創造研究代表者 JST 科学技術振興機構 RISTEX

● 主な活動

2008年 根室地方津波防災検討委員会 委員

2007年～2008年 国土交通省社会資本整備審議会河川分科会専門委員
(中略)

2012年～2013年 都市再生に係る安全確保計画策定に向けた検討会座長
(名古屋駅前地区)

2013年 米国ハリケーンサンディ調査団メンバー(国土交通省・防災関連学会)

2013年～豊岡市水害時市民安全確保推進検討会 議長(兵庫県豊岡市)

2014年～紀宝町台風等に備えたタイムライン策定検討部会座長(三重県紀宝町)

2014年～(浅間山) 孺恋村ジオパーク推進協議会学識委員

2014年 国土交通省タイムライン検討アドバイザ(国土交通省)

2014年～大島町事前防災行動計画(タイムライン)検討委員会会長(東京都大島町)

2014年～庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会座長(中部地方整備局)

2014年～わかりやすい緊急放送に関する検討会座長(三重県津市)

2014年～大豊町タイムライン検討部会委員長(高知県大豊町)

2014年～荒川下流域タイムライン検討会座長(関東地方整備局)

パネルディスカッション

コーディネータ：山崎 登 (Noboru Yamazaki)

日本放送協会 解説主幹 (自然災害・防災担当)
NPO法人環境防災総合政策研究機構 研究統括
日本災害情報学会 副会長



● 主な経歴

- 1976年 NHK入局 (盛岡局、佐賀局、長野局で勤務)
- 1988年 東京の報道局社会部の災害班に所属
(伊東沖海底噴火・イラン地震・釧路沖地震などを取材)
- 1991年 「特報首都圏」キャスター
- 1994年 名古屋局「ウィークエンド中部」キャスター
- 1995年 阪神大震災を取材
- 1998年 東京報道局社会部 災害班デスク
- 2000年 NHK解説委員 (自然災害・防災担当)
- 2009年 NHK解説副委員長
- 2012年～NHK解説主幹 (自然災害・防災担当)

● 主な活動

これまでにイラン地震、阪神淡路大震災、台湾地震、有珠山噴火、三宅島噴火、東海豪雨災害、新潟県中越地震、東日本大震災、鳥取県西部地震を現地で取材。

また、国内の自然災害だけでなく、ニューオーリンズのハリケーン災害などの海外の自然災害も取材するなど、自然災害・防災の分野で情報収集及び研究を重ね、専門性を培ってきたスペシャリスト。NHKの『持論公論』や『おはよう日本』の「ここに注目！」のコーナーなどで視聴者に分かりやすく解説し、好評を得ている。

パネルディスカッション

パネリスト：前田 康吉 (Koukichi Maeda) 滝川市長



- **主な経歴**

1991年～1995年 滝川市議会議員
1995年～2003年 北海道議会議員（2期）
2011年～ 滝川市長（現在2期目）

- **主な活動**

- 現在の主な公職

北海道市長会理事
空知地方総合開発期成会副会長
空知市長連絡協議会副会長
国道451号道路整備促進期成会会長
(社)北海道スカイスports協会理事
(財)北海道子どもの国協会理事
(財)石狩川振興財団理事
全国広域行政圏整備推進協議会会長
中空知広域市町村圏組合理事長
中空知広域水道企業団企業長
北海道自衛隊協力会第11旅団管区連合会副会長
北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会副会長
ジソギスカン食普及拡大促進協議会ジソギスカン大使 他

- 防災に関する公職

滝川市防災会議会長
滝川地区広域消防事務組合組合長
石狩川治水促進期成会会長
石狩川流域圏会議幹事
石狩川下流水防連絡協議会副会長
石狩川下流減災対策委員会委員
日本赤十字社北海道支部滝川地区地区長

パネルディスカッション

パネリスト：難波江 完三 (Kanzou Nabae)
北海道開発局 札幌開発建設部長



- 主な経歴

- 1982年 北海道開発庁 採用
- 1993年 北海道開発局 留萌開発建設部 道路第2課長
- 1998年 建設省 近畿地方建設局 阪神国道工事事務所長
- 2005年 北海道開発局 函館開発建設部次長
- 2008年 北海道開発局 事業振興部 工事管理課長
- 2012年 北海道開発局 稚内開発建設部長
- 2013年 北海道局 地政課長
- 2016年～北海道開発局 札幌開発建設部長

- 主な活動（防災関連）

阪神淡路大震災の翌年の復旧時に、近畿地方整備局の本局と事務所勤務。

パネルディスカッション

パネリスト：林 久美 (Kumi Hayashi)
札幌管区気象台長



● 主な経歴

- 1983年 気象庁入庁（札幌管区気象台技術部観測課）
- 2004年 気象庁 予報部予報課 予報官
- 2005年 気象庁 予報部数値予報課 アプリケーション班長
- 2007年 気象庁 地球環境・海洋部気候情報課
アジア太平洋気候センター所長
- 2011年 気象庁 観測部計画課 情報管理室長
- 2013年 札幌管区気象台 気象防災部長
- 2014年 気象庁地球環境・海洋部 環境気象管理官
- 2015年 気象庁地球環境・海洋部 気候情報課長
- 2016年～札幌管区気象台長

● 主な活動

スーパーコンピュータによって計算された数値予報モデルが出力する計算値から、実際に天気予報に直結する予報資料の翻訳資料作成の開発に長らく従事。その後は、アジア各国の気象局への季節予報、天候解析技術の支援業務や、温暖化、オゾン観測等の地球環境の監視業務にもかかわってきた。北海道は3度目の勤務となる。

パネルディスカッション

パネリスト：萬谷 慎太郎 (Shintarou Banyu)

札幌テレビ放送 (STV) 取締役編成局長

- 主な経歴

1982年 札幌テレビ放送 入社
2005年 報道制作局 報道部長
2008年 総務局 人事部長
2012年 報道制作局長
2013年 取締役 報道局長
2016年～取締役 編成局長



- 主な活動

2004年 第1回災害情報研究会より参加

*「災害情報研究会」は道内の報道機関、官庁（開発局・気象台・自治体等）、学識経験者が一堂に集まり、災害発生時の情報発信のあり方等、防災・減災について意見交換する会。不定期開催で過去24回、開催。